



これが「忠左衛門代官日記」

市資料館で特別展示始まる

くの市民らが訪れた。

市資料館は、口上林十倉の旗本領の代官だった岩本家から、同家にかかわる文書の寄贈を受けた。このことから、市内の郷土史家らのボランティア協力を得て文書の整理や精読作業をし、「岩本家文書から見た明治維新」の副題で今回の特別展示を開くことにした。

会場には、昼1畳分ほどの絵図や古文書など約100点が並べられ、忠左衛門を中心に忠左衛門より前の時代から後の時代を「十倉谷領のあらまし」と「最後の代官と激動の世紀」、「忠焉先生の話」の3部構成で紹介されている。

この特別展示は28日までで開館時間は午前9時〜午後5時。会期中の休館はない。高校生以上は入場料100円が必要。問い合わせなどは同資料館(☎43・1366)へ。

「忠左衛門代官日記」

をテーマとした市資料館の第12回特別展示が、30日から里町の市資料館で始まった。本紙でも「最後の代官―忠左衛門日記」と題した連載(10月20日付から)をしており、特別展示には初日から多